

競技注意事項及び大会規定

1. 本大会は2021年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則と本大会規定により実施する。

2. 招集について

- (1) 招集所は100mスタート外側付近に設ける。
- (2) 招集の時刻については、別記競技日程を参照のこと。
- (3) 招集の手順
 - ①トラック競技に出場する競技者は、招集完了時刻までに招集所で競技者係の点呼を受ける。その時にシューズの点検も実施するので、競技で履くシューズを持参すること。その際、800m、1500m、3000mの出場者は、腰ナンバーを受け取り、右側腰の後ろへ取り付ける。
 - ②トラック競技の最終コールは、競技日程に記載されている時刻に各競技のスタート付近で行う。セパレートのトラック競技は、必要に応じて、偶数レーンを走る競技者のみ、色のついた布テープを右側腰の後ろへ取り付けることがある。
 - ③リレーに出場する競技者は、4人揃って、招集完了時刻までに招集所で競技者係の点呼を受ける。現地集合時刻に各コーナー集合していること。
 - ④フィールド競技に出場する競技者は、競技開始時刻10分前に現地で点呼を受ける。
 - ⑤フィールド競技は、競技開始時刻40分前より、現地に入り、練習可能とする。
 - ⑥四種競技については、第1種目と最終種目は、招集所で別記競技日程に従い、競技者係の点呼を受ける。走高跳・砲丸投の点呼は、現地で競技開始時刻10分前に点呼を受ける。
- (4) 代理による招集の確認は原則認めない。ただし、2種目を同時に出場する競技者は、1種目の競技開始40分前までに、本人もしくは代理人が、あらかじめその旨をホームページからダウンロードした「二種目同時出場届用紙」(招集所にも用意する)に記入し、招集所(競技者係)に提出し、指示に従う。
- (5) 出場種目を欠場する場合には、競技開始時刻40分前までに競技者係へ欠場届を提出する。用紙はホームページからダウンロードして使用すること。(招集所にも用意する。)

3. 競技について

- (1) 走路順、試技順はプログラム記載順とする。
- (2) トラック競技における次のラウンドへの進出者は、別記競技日程の記載通りとする。ただし、男子3000mはタイムにより順位を決定する。
- (3) 短距離走では安全のために、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路(曲走路)を走ること。
- (4) リレーのオーダー用紙の提出は、予選については7:30~8:50までに競技者係に提出し、決勝については招集完了時刻1時間前までに競技者係に提出する。用紙はホームページからダウンロードして使用すること。(招集所にも用意しておく) 招集は、競技日程に記載されている時刻に従って招集所で行う。
- (5) 走幅跳は、A・B二つのピットを使用する場合もある。
- (6) 競技者は、勝手に競技場所を離れること、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CDプレーヤー・トランシーバーや携帯電話もしくは類似した機器を競技場内で所持または使用することは禁じられている。(競技規則 TR6.32)
- (7) スパイクのピンは、オールウェザー用とし、長さは9mm以下とする。ただし、走高跳については、12mm以下とする。(競技規則 TR5.4)
- (8) 競技で使用するシューズの底の厚さは、以下の範囲とするので、トラック競技は招集所で確認してもらうこと。(競技規則 TR5.13.3)

種 目	シューズの底の厚さ
800m未満の競技 (ハードル含む)	20mm以内
800m以上の競技	25mm以内
跳躍・投擲競技	20mm (前部が踵より厚くなってはならない)

※ フィールド競技については計測しないが、国内でのみ通用する記録として取り扱う(日本陸連の通達により)

- (9) 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする(競技規則 TR16.7)。ただし、男女四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートをした競技者は、すべて失格とする(競技規則 TR16.8, TR39.8.3)。スタート時の不適切行為に関しては、スタート審判長によって警告(イエローカード)を与えられることがある。本競技会では、

同一レースのイエローカード2枚で当該レースのみ失格（レッドカード）とする。ただし、本競技会では累積しない。

- (10) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、競技規則 TR8 に従って定められた時間内に、各競技者自身または代理人が担当総務員を通じて口頭で審判長に申し出る。さらに、この裁定に不服の場合は、預託金（1万円）を添え、担当総務員を通じてジュリーに文書で申し出る。なお、ジュリーの裁定が最終決定となる。

注：抗議があった場合、必ず、関係校の顧問に連絡を行う。

競技者自身が抗議を申し出る場合、役員係りを通して関係部署へ連絡するものとする。

4. 競技場への入退場について

- (1) 入場は、他の競技の支障がないように、各自で集合時刻までに現地へ入場する。
(2) 競技者は、競技役員の指示に従って退場する。

5. アスリートビブスについて

アスリートビブスは、胸、背部につけること。なお、跳躍種目（四種競技の走高跳を含む）の競技者は、背部または胸部のみでもよい。腰ナンバーは、競技終了後フィニッシュ地点で回収する。

6. 予選通過記録について

フィールド競技の予選通過記録・計測ラインは次の通りとする。決勝進出者は、これを越えたものとする。

（天候など特別な状況が生じた場合、フィールド審判長の判断で変更することもある。）

（男子）走幅跳 5m80（計測ライン 5m00）

砲丸投 9m50（計測ライン 8m00）

（女子）走幅跳 4m80（計測ライン 4m00）

砲丸投 9m50（計測ライン 8m00）

7. 棒高跳、走高跳のバーの上げ方について

棒高跳、走高跳のバーの上げ方は、下記によるものとする。

（天候など特別な状況が生じた場合、跳躍審判長の判断で変更することもある。）

優勝決定のためのバーの上げ下げは棒高跳 5 cm、走高跳 2 cm とする。

男子走高跳 1m55 — 1m60 — 1m65 — 1m70 — 1m73 — 1m76 以後3cm

女子走高跳 1m35 — 1m40 — 1m45 — 1m48 — 1m51 — 1m54 以後3cm

棒高跳 2m20 — 2m40 — 2m60 — 2m80 — 3m00 — 3m10 — 3m20 以後10cm

男子四種 1m40 — 1m45 — 1m50 — 1m55 — 1m60 — 1m63 — 1m66 以後3cm

女子四種 1m20 — 1m25 — 1m30 — 1m35 — 1m40 — 1m43 — 1m46 以後3cm

8. 用器具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用すること。
(2) 練習用としても、個人の用器具を競技場内へ持ち込んではならない。

9. 表彰について

- (1) 県総体については、第3位までの入賞者に賞状を授与する。通信大会の種目については8位までの入賞者に賞状を授与する。順位決定後、エントランスホールまで取りに来ること。

10. その他

- (1) 競技場をよごさないようにすること。特に空き缶類、弁当がらの片づけは各校で責任を持って行うこと。
(2) 各自の持ち物の管理には万全を期すこと。
(3) 本部前は通行禁止とする。
(4) 応援について
① スタンドでは他の競技者、観戦者との距離を十分に確保すること。
② 声を出しての応援、集団での応援は禁止する。
(5) 掲揚塔にかからないように応援横断幕を張ること。
(6) 競技者の事故等に対しては、応急処置以外の一切の責任は負いません。
(7) 競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ等の撮影について、以下の点に留意すること。

- ①保護者及び本人の了解がない撮影を禁止する。
- ②次の場合の撮影を禁止する。
 - ・ 禁止された区域での撮影。
 - ・ 競技者がスターティングブロックの足合わせをしているとき。
 - ・ 試技を待っている間や、身体を動かしているとき。 など
- (8) 本競技会に関わるすべての人に対し、競技中に発生した傷害・疾病について、現場での応急処置以外の責任は一切負わない。
- (9) 本大会の新型コロナウイルス感染拡大防止対策については、「第59回岡山県中学校総合体育大会（陸上競技）兼第67回全日本中学校通信陸上競技岡山大会」開催にあたっての連絡事項を必ず確認すること。なお、競技会に関わるすべての人の観戦に対するいかなる責任を負わない。
- (10) 本大会は第48回全日本中学校陸上競技選手権大会の標準記録突破指定大会とする。